

【資料１－３】

１．消費生活相談の年代別件数の推移

(単位：件)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
合 計		7,227	7,426	7,455	7,793	8,337
内 訳	20歳未満	195	179	209	195	188
		2.7%	2.4%	2.8%	2.5%	2.3%
	20歳代	646	626	624	538	641
		8.9%	8.4%	8.4%	6.9%	7.7%
	30歳代	675	684	638	569	653
		9.3%	9.2%	8.6%	7.3%	7.8%
	40歳代	964	907	837	803	854
		13.3%	12.2%	11.2%	10.3%	10.2%
	50歳代	1,160	1,263	1,098	1,143	1,198
		16.1%	17.0%	14.7%	14.7%	14.4%
	60歳代	1,118	1,175	1,182	1,381	1,376
		15.5%	15.8%	15.9%	17.7%	16.5%
	70歳以上	1,894	1,881	1,944	2,223	2,430
		(70歳代 1,166) (80歳以上 728)	(70歳代 1,160) (80歳以上 721)	(70歳代 1,165) (80歳以上 779)	(70歳代 1,405) (80歳以上 818)	(70歳代 1,531) (80歳以上 899)
		26.2%	25.3%	26.1%	28.5%	29.1%
	不 明	575	711	923	941	997
		8.0%	9.6%	12.4%	12.1%	12.0%

※上段は件数、下段は構成比
※構成比は、少数第2位を四捨五入しているため、その合計が100%にならない場合があります。

2. 年代別の相談件数が多い商品・役務（上位3位）

（単位：件）

		商品・役務名	令和6年度	令和7年度	備考
20歳未満	1位	教養・娯楽サービス	76	76	オンラインゲーム、ゲーム課金、アダルトサイトなど
	2位	被服品	17	21	Tシャツ、下着、運動靴など
	3位	食料品	7	16	ダイエットサプリ、口臭予防サプリメントなど
	〃	保健衛生品	21	16	美容液、洗顔クリーム、歯磨き粉など
20歳代	1位	金融・保険サービス	85	90	多重債務、フリーローン・サラ金など
	2位	保健・福祉サービス	53	84	脱毛エステ、歯のホワイトニングなど
	3位	教養・娯楽サービス	52	59	アダルトサイト、スポーツジム、出会い系サイトなど
30歳代	1位	金融・保険サービス	67	80	多重債務、フリーローン・サラ金など
	2位	教養・娯楽サービス	43	50	ゲーム課金、養成・資格講座など
	3位	商品一般	41	46	不審な電話、身に覚えのない請求など
40歳代	1位	金融・保険サービス	97	116	多重債務、フリーローン・サラ金、暗号資産など
	2位	運輸・通信サービス	62	66	光回線、Wi-Fiなど
	3位	商品一般	76	65	不審な電話・メール、身に覚えのない請求など
50歳代	1位	金融・保険サービス	119	139	多重債務、フリーローン・サラ金、クレジットカードなど
	2位	保健衛生品	156	136	ファンデーション、化粧品・美容クリームなど
	3位	商品一般	158	115	不審な電話・メール、身に覚えのない請求など
60歳代	1位	保健衛生品	208	201	ファンデーション、化粧品・美容クリーム、シミ・しわ取りクリームなど
	2位	商品一般	146	151	不審な電話、身に覚えのない請求など
	3位	運輸・通信サービス	130	134	光回線、携帯電話・固定電話サービス、Wi-Fiなど
70歳以上	1位	運輸・通信サービス	273	328	光回線、携帯電話・固定電話サービス、不審な電話など
	2位	商品一般	280	302	不審な電話、身に覚えのない請求など
	3位	金融・保険サービス	190	267	クレジットカード、多重債務、傷害・生命など